

福栄小中学校CSの組織について

2017.4

☆福栄小中学校のCSのコンセプト

- ・ CSを学校づくりのツールとして活用（小中一貫教育を支えるツール）
- ・ 無理をすることなく、年次ごとに少しずつ取組を広げていく
- ・ 1つの取組が、「地域による学校支援」になり、「学校による地域貢献」にもなるように、できるだけ1石2鳥を考える

☆組織の基本的な考え方 *シンプルな組織にする

承認機関としての「学校運営協議会」と企画・実働機関としての「プロジェクト部会」の2層からなる組織とする



- ◇ 学力向上プロジェクト部会は、児童生徒の「生きる力」の知（学力向上）の育成を担当
- ◇ 生活力向上プロジェクト部会は、「生きる力」の徳（豊かな心）と体（健やかな体）の育成を担当
- ◇ 環境構成プロジェクト部会は、児童生徒の教育活動の環境面の整備を担当

《部会のメンバー》

- 学校運営協議会の委員16名（学校代表の校長を含む）
- 学校からの参加者（各プロジェクトの学校代表小中1名ずつ、地域連携担当小中1名ずつ、小中の教頭）10名
- 小中のPTAの専門部代表（原則、専門部長または副部長）6名
以上の合計32名を3つの部会に分ける…運営協議会の委員については、希望をとった上で振り分ける

- * 部会リーダーは運営協議会の委員の中から選出し、サブリーダーは学校教員が担当する
- * プロジェクト部会で企画立案し、学校運営協議会で承認されたプロジェクトは、PTA専門部、学校支援ボランティアや関係団体の協力を得て、推進していく
- * 学校の校務分掌組織（小中合同）とPTA組織（H29は小中別、H30からは小中合同）は、CSのプロジェクト部会に対応させる

◇会議の回数、持ち方

- ・ 学校運営協議会は学期に2回、計6回とする
- ・ 第2回と第5回の運営協議会は、学校関係者評価委員会を兼ねる
- ・ 学期に1回オープンスクールを開催し、授業参観も入れ昼間の時間帯に運営協議会をもつ（年2回）
- ・ プロジェクト部会は、基本的に学校運営協議会がない月に開催（年6回）